

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870501511
法人名	(株)えひめメディコープ
事業所名	グループホームとらや
所在地	愛媛県新居浜市若水町2-7-4
自己評価作成日	H22年7月6日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成22年7月21日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

「笑顔のある暮らし」の理念の下、いつも笑いの耐えない家庭作りを目指してスタッフ一同頑張っています。年1回の1泊旅行は、入居者皆の楽しみでも有り、続けられる限り、続けて生きたいと思っています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

毎年恒例になっている西条市の休暇村への1泊旅行は、利用者全員行かれ、ご家族の参加もあった。又、お花見や石鎚ハイウェイオアシスで足湯を楽しまれたりされている。「毛糸を買いに行きたい」と希望される利用者と一緒に買い物に出られたり、毎日、近所のスーパーに食材の買出しに行かれており、調査訪問時も3名の利用者が出かけられ「行ってらっしゃい。たたいま。おかえり。」と職員・利用者で声を掛け合っておられた。

入居前は失禁が多く、紙パンツを使用されていた方も、様子を見ながらパットで対応し、外出前や食事前等に声をかけて、誘導を続けて支援された結果、現在は、昼間はトイレで排泄できるようになった。又、外出時、トイレの便座が冷たいことを嫌がられる方には、便座シートを携帯するようにされている。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働けている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外に行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホームとらや

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

高次 真理

評価完了日

平成22年7月6日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) H17年スタッフ皆で立ち上げ、毎年確認を行なっている。また、朝の申し送り時に復唱し内容を毎日認識し、その日の業務につくようにしている。	
			(外部評価) 「地域及び他施設への情報発信、情報交換を行い交流を図る」を理念の一つに掲げておられ、運営推進会議時には、メンバーとともに他ホームを視察して防災対策の取り組みを聞かせてもらい「グループホームとらや」でどのように取り組んでいくか意見交換等をされた。又、理念の一つをもとにして、月間目標を決めておられ、今月は「食中毒の予防と水分補給」と挙げて、居間のホワイトボードを使用して共有されていた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 地域の役員会に役員（組長）として参加し、組のお世話役をしていると同時に、行事を知り参加できるものは参加している。また、毎日の買い物等、顔見知りとなり、地域からの声かけもあり。	
			(外部評価) 「地域とともに何か行事を行う」ことに向けて、昨年は特に力を入れて取り組んで来られ、12月末には、事業所で「もちつき大会」を行われた。地域の愛護班、推進委員、協立病院の職員、デイサービスの利用者等と一緒に杵と臼で餅つきをされた。又、地域行事では、「運動会」では玉入れに参加されたり、「文化祭」には利用者とともに作成した貼り絵を出展された。「健康体操」や「畑作業」等のボランティアの方が来てくださっている。8月には「とらや5周年」を記念して、5年間の歩みのスライドショーをされたり、認知症の勉強会、ボランティアの方の出し物等も予定されている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 地域での声かけに対し、答えたり、運営推進会議において、話をしたりしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>2回に1回、他施設訪問を行ったりし、皆で参考になる ものはないか、また、地域での意見、包括からの市か らの意見を参考にとらや運営を進めている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>会議は、協力医院の会議室で行っておられ、自治会長 や地域の方も出席いただき、行事の反省や次回にむけ ての検討、困っている事を議題として挙げて話し合わ れている。又、看取りについての勉強会等もされた。 管理者は「これからも会議時に、出席者とともに他 ホームへの訪問を行い、感想を述べ合って事業所の運 営に活かしたい」と話しておられた。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者や日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>運営推進委員として毎回包括より担当者に参加して もらったり、何かあれば、介護福祉課担当者に相談す るようにしている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>市の担当者とは、提出書類の書き方について相談し、 助言を頂いている。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎年研修会に参加したり、学習会をしたりして再認識 し、日ごろの介護につなげている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>職員は、勉強会で身体拘束について勉強をされてい る。管理者は、利用者に対して「言葉での抑制はやめ よう」ということを職員に話しておられ「ちょっと 待って」という場合には「待ってもら理由」をご本 人が納得がいくように話すようにされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 毎年研修会に参加したり、学習会をしたりして再認識し、日ごろの介護につなげている。	
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修があれば、参加するようにし、対象入居者様がいれば家族等話し合いを持つようにしている。	
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居時、契約変更時は家族と十分説明を行い、契約を結ぶようにしている。	
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 玄関に意見箱を置き、また、年2回家族運営で家族会を持ち意見・要望を聞くようにしている。 (外部評価) 家族会は年2回開催されており、ほとんどのご家族が参加し、ご家族が主体となってすすめられている。皆で自己紹介して、事業所からは連絡事項等を伝えたり、行事の様子等を報告されている。4月の家族会は、お花見を兼ねて行われ、昨年11月の会では、地域包括支援センターの方の協力を得て「虐待について」の勉強会が行われた。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎日での気づきは、気づきノートに記入してもらうようにし、月1回部会において、業務内容を検討するようにしている。また、年2回個人個人において面接を行い、意見要望を聞くようにしている。 (外部評価) 昨年度は職員の入れ替わりもあったが、今年度は落ち着かれたようである。理念の一つに「何でも話し合い、改善できる職場づくり」を挙げておられ、管理者は、職員からの質問には「一つひとつ丁寧に、その場で答える」ようにされている。職員からの提案で、冬期、外から冷たい風が入って来ないように、ウッドデッキを覆うカバーを設置されていた。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価) 取締役会に、前月の経営、運営状況を提出し、月1回取締役会に参加し、意見を出し合い、職場作りに勤めている。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 面接により、各人が研修に参加しやすい方法を見極め、その人にあった研修を進めるようにしている。また、会社として、研修参加費や交通費の助成が認められている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価) 県のGH協会に加盟し、研修会に参加することにより交流を図ったり、相互評価には必ず、複数参加するように勤めている。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価) 入居時、本人・家族と面談を行い、アセスメントシートを仕上げると同時に、本人の気持ちを理解するように心がけている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>入居時、本人・家族と面談を行い、アセスメントシートを仕上げると同時に、家族の気持ちを理解するように心がけている。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>入居された時点では、介護計画を小まめに変更し、その時々にあった介護が出来るように心がけている。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>日々の掃除、洗濯物干し、たたみ、買い物等ともに協力できるように心がけている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>定期診察は出来るだけ家族にしてもらったり、イベントなどにはこれの方には出来る限り来ていただいて面会を多く持つようにしている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>ふるさと訪問を以前より検討しているが、できず。誕生日にいけるように今年度は計画したい。</p>	
			(外部評価)	<p>ご自宅の周辺をドライブされたり、行きつけの美容院に職員がお連れすることもある。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 絶えず一人ひとりに気をつけながら、声かけし、交流が持てるように援助している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 契約終了家族に対して、機関紙や年賀状等を送るようにしている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 出来る限り、本人のペースに合わせるように勤めている。(起床・就寝時間・食事時間等) (外部評価) 「ターミナルの願い」「苦痛」「嬉しいこと」「どういう風に接して欲しい」等の項目、又、「できること、できない事」「わかること、わからないこと」等の情報を集めたアセスメントシートを作成されている。日々の職員の気付きを「介護気づきノート」に書き込み、申し送り時やカンファレンスの際には話し合い、利用者の思いや意向の把握に努めておられる。職員は、利用者の意向に沿えるよう、やるうか、やらないかを考えるのではなく「やるためにどうするか、まずやってみよう」と考えるようにされている。	管理者は「利用者個々についての情報収集が不十分ではないか」と感じておられる。管理者は「アセスメント等の個々の記録をケアに活かすためには、職員の知識や技術の向上が必要」と考えておられた。又、「利用者に聞きたいことをまとめておく」こと等も考えておられた。職員の利用者への対応等について工夫を重ね、情報収集に努め、ご本人主体の支援につなげていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 入居時アセスメントシートを家族とともに埋め、活かしている。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 毎月のケアカンファにて、それぞれの入居者様の様子を把握し、介護の統一を図るようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎月のケアカンファにて、それぞれの入居者様の様子を把握し、利用者様にあったケアができていますか等介護の統一を図るようにしています。また、毎月精神科カンファレンスにより、主治医と最近の状況等検討が出来る様にしています。</p> <p>(外部評価)</p> <p>介護計画は、3ヶ月毎に見直しされている。利用者の現状をご家族にお話して、ご家族の希望を聞き取り、相談しながら介護計画を作成されている。持病のある方の支援については、医師の助言も採り入れて作成されている。</p>	
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>個人記録にできるだけ記入しているが、記録内容等が不十分な所があるため、今後学習していかないとけない。</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>できる限りは本人、家族の希望を取り入れるようには努力している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>地域にあるスーパー、水汲み場等へ、ほぼ毎日外出している。また、参加できる地域行事へも参加している。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>契約のときに、かかりつけ医を聞き、何かあればできる だけかかりつけ医での対応に心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>歯科、眼科、又、緊急時には職員が同行し、かかりつ け医の定期受診は、ご家族が付き添うようになってい る。ご家族が付き添う際には、食事、排泄、睡眠等、 ご本人の事業所での生活の様子等を医師に伝えて受診 できるようにされている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>一般状態に係らず、皮膚の状態等少しでも変化があれば、 看護師に情報を集中するようにしている。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>必ず病棟との連携にて病状把握に務め、利用者様が、 安心して治療ができ、早期の退院が出来る様に努めて いる。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ターミナルについては、契約時に家族・本人への説明 を行っているが、状況に応じてその都度相談を行って いる。</p> <p>(外部評価)</p> <p>昨年、看取りの指針を作成し、家族会時にも説明され た。入居時には、ご本人ご家族に「ターミナルの願 い」を聞き取っておられる。「最期まで、とらやで過 ごしたい」と希望する利用者もあり、職員は「利用者 個々にその人らしい暮らしをしてもらいたい」「声をお かけしながら最期まで支援したい。」と話しておられ た。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 年1回の学習により振り返りはしているが、身についたとはいえない。必ず、管理者（看護師）に連絡をし、支持を仰ぎ、隣接の病院と連携をもって実施している。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 定期的な避難訓練に運営推進会議のメンバーも参加し、実施しているが、すべて身についたとはいえない。 (外部評価) 玄関以外に、裏庭の畑に通路を確保され、ブロック塀に非常扉を付けておられた。消防署の協力を得て訓練を行った際には「スムーズにできた」と感想をいただいた。又、新たに家族間の緊急連絡網を作成された。来年の1月までに、スプリンクラーと消防署への直通電話を設置される予定である。	管理者は、避難の手順は決めているが「訓練に全職員が参加できなかった」ことや、年に数回なので「手順を忘れてしまう」ことが課題に残ると話しておられた。全利用者・職員の安全と安心のためにも訓練を重ね、地域との協力体制をさらに築いていかれてほしい。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 本人の人格を尊重しながら声かけをしているが、本人とのなじみの関係での声かけとなっていることもあり。 (外部評価) 管理者は、職員に「理念を思い浮かべて利用者と接してください」と伝え、言葉遣いに注意するよう指導されている。利用者は、職員に労いの言葉をかけてくれたり、新人職員には「頑張りよ」と声をかけてくださるようだ。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日常生活における色々なことは、必ず本人に聞くようにしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 出来るだけ、本人の過ごしやすいような流れで対応しているが、こちらの時間の流れになっているようである。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出時には、本人と一緒に洋服を選んだり、顔剃りしたり、カットやパーマをかけたい希望があれば、連れて行ってあげている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) その方の能力に応じた方法と一緒に調理できることは手伝ってもらっている。また、調理を工夫し、おいしく、楽しく食べてもらえるようにしている。	
			(外部評価) 一汁三菜を基本にご利用者の意見も聞きながら、メニューを決めておられる。誕生日には、その方の食べたいものを聞き取り、すき焼きやお寿司を作られた。調査訪問時には、朝、事業所の畑で収穫した枝豆やトマトが昼食の食卓に並んでいた。おにぎりを握っている利用者もあった。「なすびが上手に煮えとる。煮るのがうまなった。」と職員をほめてくださる方や「枝豆は取れたてやけんおいしいな。」とお話しながら食事をされていた。公文式学習療法を採り入れるため、職員の人手のこともあり、現在は、週2回、昼食に外注のお弁当が届くようになっている。好き嫌いのある方は、食材も代替えしてくれるようだ。	
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 水分量や、食事の摂取量が少ない方は、チェック表に記入するようにしている。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後とは行かないが、体制の取れる昼は必ず一人ひとり口腔ケアができるようスタッフがつき、はじめは自分で、できないところをスタッフが補うように援助している。(口腔ケアチェック表に毎日チェックしている)	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) その人の生活リズムにあわせた誘導を行い、また、トイレに入ったときを見計らってパット交換や、上げ下ろしの介助をしたり、できるだけ自分でトイレ排泄ができるような援助を心がけている。 (外部評価) 排泄は、個々の排泄チェック表で把握されている。入居前は失禁が多く、紙パンツを使用されていた方も、様子を見ながらパットで対応し、外出前や食事前等に声かけて、誘導を続けて支援された結果、現在は、昼間はトイレで排泄できるようになった。又、外出時、トイレの便座が冷たいことを嫌がられる方には、便座シートを携帯するようにされている。	
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 排便チェック表で排便をチェックし、その人の体調に合わせた食事、捕食、担当医と相談し、定期的な下剤により排便をコントロールしている。	
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 入浴チェック表を元に、毎日必要な方から声をかけ、入浴してもらっている。時間帯は体制上午後からのみとなっている。 (外部評価) 事業所では、午後から入浴を支援するようになっている。毎日入る方もあり、又、入浴剤を利用する時もある。デイサービスのリフト浴を利用されていた方が「皆と一緒にのお風呂に入りたい」と言われたことから、日常生活の中で移乗のリハビリを続け、筋力アップに努め、ホームで入浴できるよう取り組まれた。	
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) その人の体調、生活習慣を把握し、その人にあった休息を援助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 個人のカルテに薬剤情報を閉じつけ、いつでも誰が見てもわかるようにしている。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) アセスメントシート等をもとに、本人の得意なこと、好きなことを伸ばせるようにまた、楽しめるように皆で知恵を出し合い援助している。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 一人ひとりの希望を聞きながら、月1回は出来るだけ外出やイベント行事を計画している。ボランティア、家族の協力を得ながら、年1回、砥部の動物園や東予国民休暇村へ1泊旅行に行っている。	
			(外部評価) 月に1回は外出やイベントが行えるよう、職員で担当者を決めて取り組んでおられる。毎年恒例になっている西条市の休暇村への一泊旅行は、利用者全員行かれ、ご家族の参加もあった。又、お花見や石鎚ハイウェイオアシスで足湯を楽しまれたりされている。「毛糸を買いに行きたい」と希望される利用者と一緒に買い物に出られたり、毎日、近所のスーパーに食材の買出しに行かれており、調査訪問時も3名の利用者が出かけられ「行ってらっしゃい。ただいま。おかえり」と職員・利用者で声を掛け合っておられた。	
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) こずかいは、施設預かりと、ある程度理解できる人、希望の人には本人持ちこずかいを持たしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 電話は子機を使用し、いつでも対応できるようにしている。手紙、はがきも本人希望があれば援助している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家庭の食堂、のような雰囲気を出すように、テレビ以外に心地よい音楽や、その日の気分によって演歌やクラシックを流すようにしている。ローカの洗面所には、季節の花を飾るように心がけている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>旅館を改装したホームで、廊下や階段、中庭等に趣きを感じる。ウッドデッキでは、利用者が洗濯物をたたんだり、水槽の金魚を眺めたりされていた。裏庭の畑には、トマト等季節の野菜や花を育てておられ、毎日水やりをされたり、草を引いて職員と一緒に成長を楽しみにされている。二階に居室のある利用者が階段の上がり降りがむつかしくなった時のために、リフトを付けることを検討されていた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>ウッドデッキに使い古したソファを置き、好きなときに座れるようにしている。また、一緒に洗濯物を干したりたたんだりしている。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>出来る限り本人のものを持ってきてもらうようにしている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>たんすや鏡台、ベッド等、利用者の馴染みのものを持ち込んでおられる。お孫さんの結婚式の写真を飾られたり、位牌を置かれている方もあった。演歌歌手のポスターを貼っておられる方も見られた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>できるだけ、状況に応じ、見守りにて安全を確保しながら、行動をしてもらっている。また、必要に応じ、手すりを設置している。</p>	